

1

付加 (頻度、still, also, __ly など)



ハイライト部分は語順が固定、茶色の縦連続枠はよく順が入れ替わります。緑色の「とき」を表す表現は複数使えます。『だれ何(を／に)』では値段や時間、距離なども使われます。

等接・繋

だれ何が／は

どうする
(助動詞＋
一般動詞)

- A だれ何を／に
- B →→スキップ→→
- C だれに 何を
- D だれ何を／に 何と
どんなだ
(to) ～こと

どのように

どこ

～するには／～するのに
to ～

～しに／～するのに
～ing

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

いつ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど



青網掛け部分は主語 (S)、灰色網掛け部分は動詞 (V)、オレンジ網掛け部分は目的語 (O)、黄色網掛け部分は補語 (C)

だれ何のために／目的で／を求めて／にとって
だれ何について／のことを／に対して／が原因で／
何語で、だれ何と一緒に／伴って／なしで
だれ何より／のうちで／と同じくらい／のように
どんな行事・機会・点・状況で、何として など

2

2-B～2-Dの付加

2-Aの付加

等接・繋

だれ何が／は

- A イコール
(be動詞)
- B 五 感
- C な る
- D ままでいる

だれ何／どんなだ

どのように

どこ

～すること／～するのには
to ～

～するのに
～ing

…ということ
that 節

その他

～すること
to ～

何 回

どのくらいの間

何時に

いつ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

主語が仮(形式)主語 it の時の真主語

3

付加

等接・繋

- A (特定する語)
だれ何は
- B There
- C Here

いる・ある
(be動詞)

- A →→スキップ→→
- B (数量詞) だれ何が
- C だれ何が／は

どこ

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

いつ

どのような条件で

も

な ぜ

～だけれど

3-Cは主語が代名詞の場合、be動詞の前

4

be の代わりに get, become の場合もあり

等接・繋

だれ何が／は

どうされる
(be+過分)

付加

- A →→スキップ→→
- B 何を
- C ～に ～のために
to / for だれに
- D 何と
どんなだ
to ～こと

どのように

だれ何によって

どこ

その他

何 回

どのくらいの間

何時に

いつ

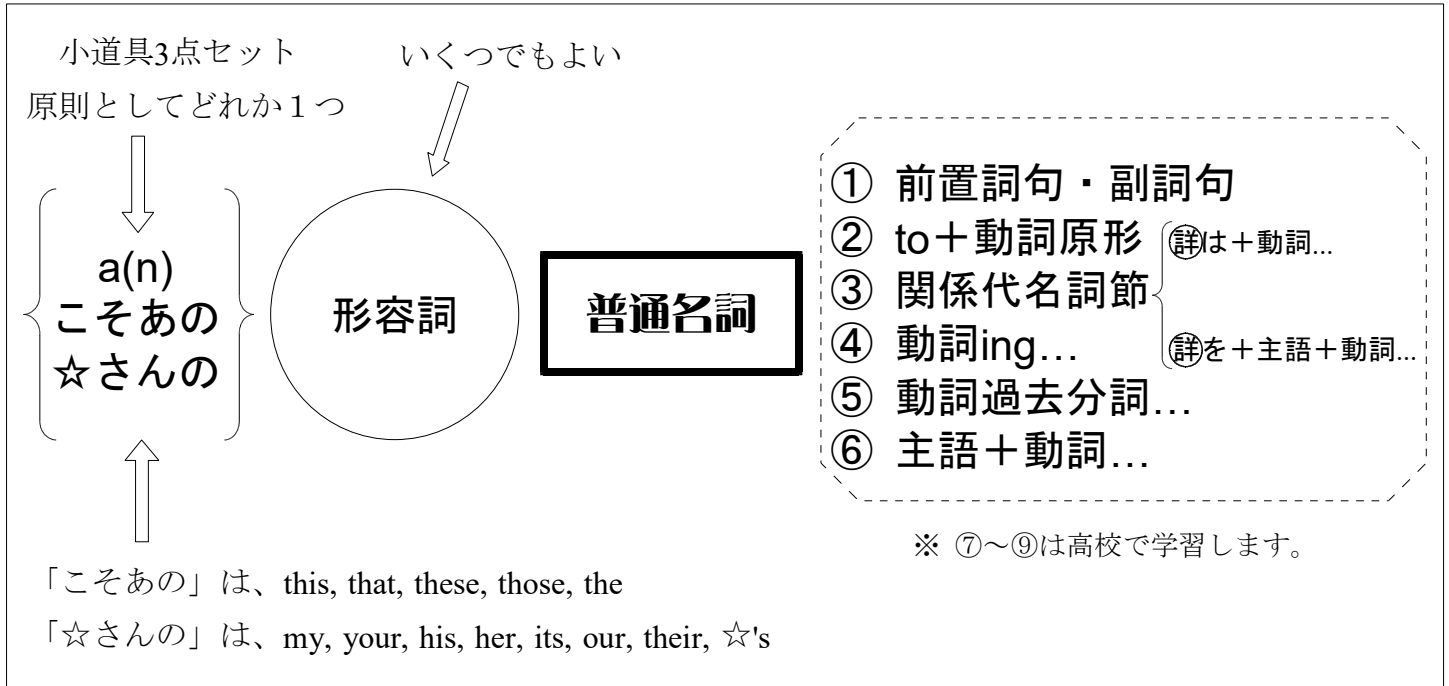
どのような条件で

も

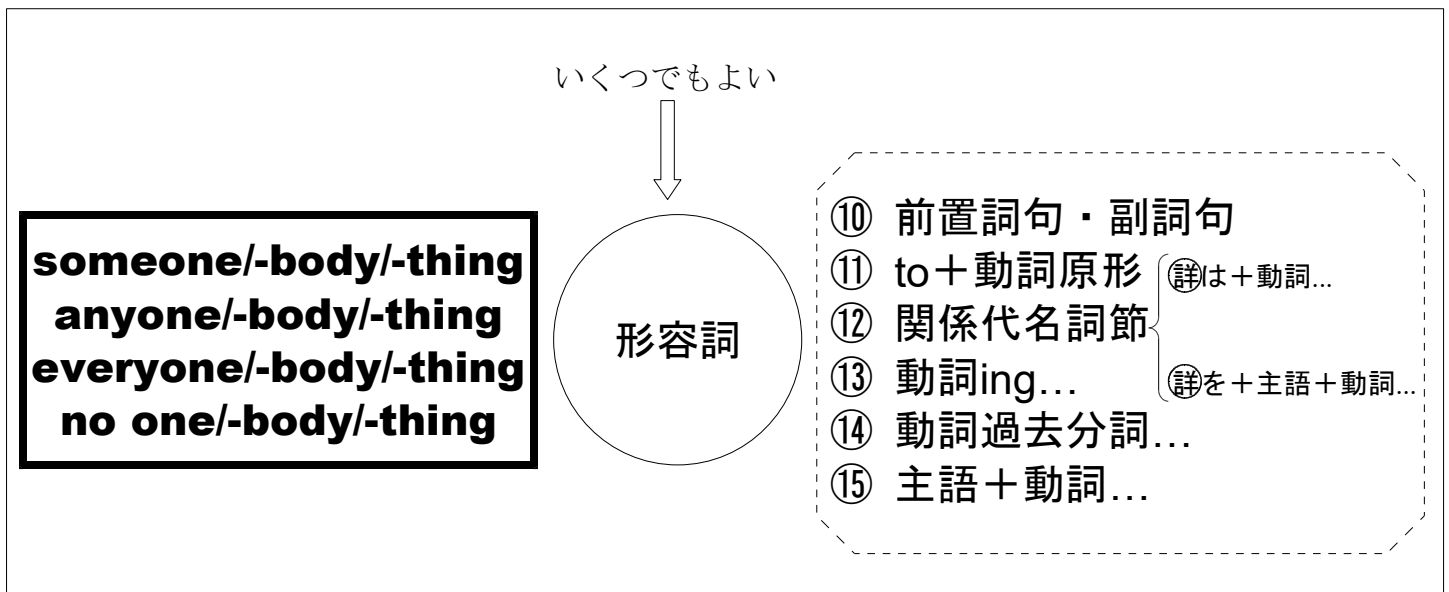
な ぜ

～だけれど

ア. 名詞句の図 (普通名詞編)



イ. 名詞句の図 (-one, -body, -thing編)



ウ. 名詞句・名詞節の図 (疑問詞編)

